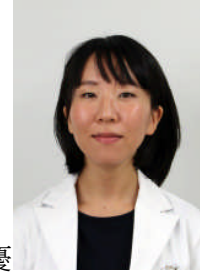


和歌山病院での実習を終えて



宮井 優

9月12、13日の二日間、呼吸器内科の臨床実習の一環として国立病院機構和歌山病院で実習させていただきました。

今回の実習中、幾つかの講義を受けさせていただきました。中でも、南方院長先生による胸部X線の読み方の講義では、どうしてこの画像が見えているのか、臓器の位置関係によってどのような違いとなるのか、自分たちで考えて理解する貴重な機会をいただきました。間違った答えであっても、どうして間違いであるのか改めて考えて理解することのできる楽しい時間でした。他にも、和歌山で唯一結核病棟を持つ和歌山病院で、駿田副院長先生から結核の病態や予防策、診断方法、治療法に関する講義も頂き、結核病棟を見学しました。空気感染である結核に対し、本当に必要な予防策は何か理解し、入院されている患者さんの病室を見ることで、机上だけでない深い理解を得ることが出来ました。また、呼吸管理に関する講義では、実際の人工呼吸器のモードを体験することで、理解とともに患者さんの感じていらっしゃる不快感にも少し共感できたように思います。いつもとは違った環境で、呼吸器に浸かる贅沢な学びの機会となりました。

最後になりますが、この場をお借りし、南方院長先生、駿田副院長先生をはじめお世話になった先生方、スタッフの皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。